

# 令和7年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和7年5月14日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社  
 コード番号 6061 URL <https://www.uni-green.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長  
 配当支払開始予定日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 安部 豪  
 (氏名) 野呂 千佳子  
 TEL 072-649-2266

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和7年6月期第3四半期の連結業績(令和6年7月1日～令和7年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年6月期第3四半期	14,925	25.6	2,008	26.8	1,995	20.4	1,395	29.1
6年6月期第3四半期	11,882	18.1	1,584	1.8	1,657	1.2	1,081	5.8

(注) 包括利益 7年6月期第3四半期 1,430百万円 (22.6%) 6年6月期第3四半期 1,166百万円 (1.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年6月期第3四半期	299.97	
6年6月期第3四半期	229.84	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年6月期第3四半期	16,862	13,378	79.1
6年6月期	15,319	12,063	78.5

(参考) 自己資本 7年6月期第3四半期 13,336百万円 6年6月期 12,033百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年6月期		0.00		25.00	25.00
7年6月期		0.00			
7年6月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和7年6月期の連結業績予想(令和6年7月1日～令和7年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,612	22.3	2,700	13.8	2,745	9.4	1,782	8.9	383.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	7年6月期3Q	5,025,000 株	6年6月期	5,025,000 株
期末自己株式数	7年6月期3Q	372,790 株	6年6月期	372,749 株
期中平均株式数 (四半期累計)	7年6月期3Q	4,652,219 株	6年6月期3Q	4,704,296 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競争状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予測に関する事項は、決算短信 (添付資料) 4ページ「1.経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期連結累計期間に係る各数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善に支えられ個人消費にも持ち直しの動きがみられました。一方で、米国の関税引き上げによる世界経済の減速懸念、長期化するロシア・ウクライナ情勢や中東情勢、中国経済の持ち直しの遅れなど景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、国内のレンタルグリーンの契約は計画通り推移したものの卸売事業、小売事業においては売上、営業利益ともに計画を下回り、中間期より引き続き、前期のM&Aにおけるのれん償却費の増加及び今後の事業に向けての人材の確保や賃金の上昇に伴い増加した人件費を補うまでに至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,925,998千円（前年同四半期比25.6%増）、営業利益は2,008,759千円（同26.8%増）、経常利益は1,995,218千円（同20.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,395,502千円（同29.1%増）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

各セグメントの経営成績の数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

#### 〔グリーン事業〕

グリーン事業につきましては、レンタルグリーンの新規契約獲得が計画通り推移し増収増益となりましたが、前期のM&Aにおけるのれん償却費が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は10,039,750千円（前年同四半期比18.8%増）、営業利益は1,970,759千円（同22.9%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは22.5%（前年同四半期22.2%）、関西エリアは27.2%（同24.8%）、海外エリアは9.1%（同8.3%）となりました。

#### 〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、中間期に引き続き植物及び植物関連商材の需要が一服し、売上が計画を下回り、人件費の増加を吸収しきれなかったため、増収減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,125,037千円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益は84,713千円（同1.0%減）となりました。

#### 〔小売事業〕

小売事業につきましては、中間期に引き続き連結子会社の増加により売上高は増加となりましたが、既存店舗におけるグリーン関連のコロナ禍による巣ごもり需要のゆるやかな低下が止まらず、燃料費、電気料等の資源・エネルギー価格上昇や人件費の増加の費用を吸収できず増収増益ではありませんが、営業損失を減らすに留まりました。尚、ガーデンセンターやグリーンショップ、フラワーショップ、ネットショップ等の小売事業は、「母の日」や季節的要因により第4四半期が最も繁忙期となります。

以上の結果、当セグメントの売上高は4,177,980千円（前年同四半期比53.8%増）、営業損失は88,743千円（前年同期は137,653千円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

（総資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は16,862,626千円となり、前連結会計年度末に比べ1,543,159千円の増加（10.1%増）となりました。

このうち流動資産は8,215,245千円となり、前連結会計年度末に比べて560,901千円の増加（7.3%増）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が442,191千円、有価証券が100,358千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は8,647,380千円となり、前連結会計年度末に比べて982,258千円の増加（12.8%増）となりました。これは主に、有形固定資産が662,109千円、投資有価証券が301,368千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,484,016千円となり、前連結会計年度末に比べて228,037千円の増加（7.0%増）となりました。これは主に、リース債務が356,064千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は13,378,609千円となり、前連結会計年度末に比べて1,315,121千円の増加（10.9%増）となりました。これは主に、利益剰余金が1,279,196千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、令和7年2月12日に発表した業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,339,127	4,286,057
受取手形及び売掛金	2,083,669	2,525,860
有価証券	199,885	300,244
商品及び製品	719,159	746,323
原材料及び貯蔵品	12,913	6,588
その他	352,164	397,466
貸倒引当金	△52,575	△47,294
流動資産合計	7,654,344	8,215,245
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,202,373	1,201,172
その他	4,316,967	5,152,325
減価償却累計額	△2,628,679	△2,800,726
その他（純額）	1,688,288	2,351,598
有形固定資産合計	2,890,661	3,552,771
無形固定資産		
のれん	1,846,326	1,887,661
その他	377,785	355,704
無形固定資産合計	2,224,112	2,243,365
投資その他の資産		
投資有価証券	1,201,586	1,502,955
繰延税金資産	392,206	400,093
投資不動産	521,994	521,994
減価償却累計額	△163,784	△169,695
投資不動産（純額）	358,209	352,298
その他	599,252	596,864
貸倒引当金	△906	△968
投資その他の資産合計	2,550,348	2,851,243
固定資産合計	7,665,122	8,647,380
資産合計	15,319,466	16,862,626

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和6年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	633,697	824,018
1年内返済予定の長期借入金	3,420	-
リース債務	131,479	160,368
未払法人税等	506,419	254,010
賞与引当金	13,557	88,135
その他	916,997	851,981
流動負債合計	2,205,570	2,178,514
固定負債		
長期借入金	85,650	-
リース債務	263,350	590,525
繰延税金負債	19,843	9,021
退職給付に係る負債	244,742	262,581
長期未払金	207,594	207,410
資産除去債務	210,667	217,403
その他	18,558	18,558
固定負債合計	1,050,407	1,305,501
負債合計	3,255,978	3,484,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	12,211,250	13,490,447
自己株式	△606,966	△607,126
株主資本合計	11,899,543	13,178,579
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	133,509	157,704
その他の包括利益累計額合計	133,509	157,704
非支配株主持分	30,435	42,325
純資産合計	12,063,488	13,378,609
負債純資産合計	15,319,466	16,862,626

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年7月1日 至 令和6年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年7月1日 至 令和7年3月31日)
売上高	11,882,549	14,925,998
売上原価	4,482,409	5,509,134
売上総利益	7,400,139	9,416,863
販売費及び一般管理費	5,815,755	7,408,103
営業利益	1,584,384	2,008,759
営業外収益		
受取利息	13,143	18,390
投資不動産賃貸料	27,399	28,270
為替差益	35,654	-
補助金収入	-	12,465
その他	24,747	25,986
営業外収益合計	100,944	85,113
営業外費用		
支払利息	10,481	6,103
不動産賃貸原価	10,705	12,290
為替差損	-	73,437
その他	6,480	6,823
営業外費用合計	27,667	98,655
経常利益	1,657,661	1,995,218
税金等調整前四半期純利益	1,657,661	1,995,218
法人税等	562,202	589,223
四半期純利益	1,095,459	1,405,994
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,230	10,491
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,081,229	1,395,502



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年7月1日 至 令和6年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年7月1日 至 令和7年3月31日)
四半期純利益	1,095,459	1,405,994
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	70,755	24,194
その他の包括利益合計	70,755	24,194
四半期包括利益	1,166,214	1,430,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,151,442	1,418,298
非支配株主に係る四半期包括利益	14,772	11,890

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 令和5年7月1日 至 令和6年3月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
レンタルグリーン	1,552,545	880,489	857,002	3,290,036	—	—	3,290,036	—	3,290,036
グリーンサービス	2,680,599	1,010,733	1,457,091	5,148,425	—	—	5,148,425	—	5,148,425
卸売	—	—	—	—	730,729	—	730,729	—	730,729
小売	—	—	—	—	—	2,713,358	2,713,358	—	2,713,358
顧客との契約から生じる収益	4,233,144	1,891,223	2,314,094	8,438,462	730,729	2,713,358	11,882,549	—	11,882,549
外部顧客への売上高	4,233,144	1,891,223	2,314,094	8,438,462	730,729	2,713,358	11,882,549	—	11,882,549
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,688	3,257	—	10,945	328,652	2,482	342,080	△342,080	—
計	4,240,833	1,894,480	2,314,094	8,449,407	1,059,381	2,715,840	12,224,630	△342,080	11,882,549
セグメント利益又は損失(△)	942,248	469,066	192,177	1,603,493	85,566	△137,653	1,551,406	32,977	1,584,384

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額32,977千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であり  
ます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 令和6年7月1日 至 令和7年3月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
レンタルグリーン	1,726,721	926,118	1,204,443	3,857,283	—	—	3,857,283	—	3,857,283
グリーンサービス	3,219,225	1,236,344	1,711,218	6,166,789	—	—	6,166,789	—	6,166,789
卸売	—	—	—	—	726,585	—	726,585	—	726,585
小売	—	—	—	—	—	4,175,339	4,175,339	—	4,175,339
顧客との契約から生じる収益	4,945,947	2,162,462	2,915,661	10,024,072	726,585	4,175,339	14,925,998	—	14,925,998
外部顧客への売上高	4,945,947	2,162,462	2,915,661	10,024,072	726,585	4,175,339	14,925,998	—	14,925,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,710	7,967	—	15,677	398,451	2,640	416,770	△416,770	—
計	4,953,658	2,170,430	2,915,661	10,039,750	1,125,037	4,177,980	15,342,768	△416,770	14,925,998
セグメント利益又は損失(△)	1,114,960	590,656	265,142	1,970,759	84,713	△88,743	1,966,729	42,030	2,008,759

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額42,030千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であり  
ます。

- 2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  - 3 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。
- 
- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年7月1日 至 令和6年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年7月1日 至 令和7年3月31日)
減価償却費	258,251千円	313,963千円
のれんの償却額	137,975千円	216,636千円